



にじいろ通信 No.60

発行：社会福祉法人健翔会 にじいろ
所在：埼玉県行田市忍 1-11-1
TEL:048-598-5252 FAX:048-501-6031
責任者：にじいろ管理者 齋藤真知子
MAIL:nijihiro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、障害特性のある子どもたちに日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

鬼はそーっと逃げて、そこまで、春がやってきました。

未就学児童に対する「児童発達支援」を始めました。利用児童募集中です!!

「季節を感じる大切さ」

児童発達支援管理責任者 齋藤 真知子

先日、にじいろクラブ「スノーキャット&雪遊びバスツアー」で菅平高原奥ダボススキー場に出掛けてきました。長い道のりも、バスレクを楽しみながらあっという間に到着しました。冬晴れの澄んだ空気に包まれた一面の雪景色に、ドキドキと興奮の子どもたち。スキー場を初めて体験する児童もいました。なので、リフトも、もちろん初体験。リフトは壮大な白銀の景色の中に連れて行ってくれるトラクションのようです。雪山の中を走るスノーキャットは大きな音を響かせながら、標高2170メートル頂上付近まで連れて行ってくれました。遠くの山を見下ろすその景色に圧倒され「地球って丸いんだな〜」と



2/19 にじいろクラブで菅平高原へ出かけました。天気に恵まれ、絶景の中で、マイナス18度を体験しました。



3月の壁画制作は梅の木に花を咲かせます。和紙に絵具で色を付けた梅の花を木の枝に貼り付けます。製作することへの集中力がみなぎっています。

実感しました。子どもたちにとっても、息が白くなったり、触ると冷たくて形も変わる雪は、冬ならではの自然の美しさと思議さを体験させてくれました。改めて四季を感じて過ごす大切さに気付きました。

私たちは子どもの興味を引くきっかけになるように「どんな実がなるかな」と言いながら苗を植えたり、「空が青くてきれい」など感じたもの言葉にすることも忘れないようにしたいです。虫の動きや声、太陽の強さなど身近にある自然で、その時期にしか味わえないものを、五感を使ってさまざまなことを感じてほしいです。これからの季節は虫採り、魚釣り、農作業体験、アウトドア体験など楽しみがいっぱいです。

ちなみに、子どもたちが飼いだめたメダカや、ドンコもしっかり面倒をみているので、のびのび成長中です。



雪がいつぱいの絶景に、興奮が抑えられないみんなです。すごーい!!



そり遊びより、スノーボードに興味があるんだと訴えられました(笑)



雪をかき分け進むスノーキャット初体験。親子でワクワク共有です♪



2/3 節分豆まきでは、鬼の登場に大泣きした子どもたちも、最後は鬼と記念の写真を撮りました。来年は泣かないで、たくさん豆をまくぞ~!!

★3月の主な予定 1日：段ボールゲームセンター 2日：クッションライダーを作ろう 3日：ひな祭りおやつ ひな祭りゲーム 8日：わっかでレッカーゲーム 16日：穴あきクイズ 23日：イントロクイズ 24日：風船バタバタゲーム 25日：春を探しに行こう

★にじいろで欲しいもの レゴブロック ぶら下がり健康器 ミニカー 絵本 パズル等

★ありがとうございました 齋藤様：お菓子 木暮様：次亜塩素酸消毒液スプレー